

丸山湿原群保全の会会報

(第 207 号)

発行日：2024 年 (R6) 10 月 16 日 編集／発行：丸山湿原群保全の会
〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内

TEL/Fax0797-91-1788
090 - 1895 - 8061 (今住)

E-mail:maruyamashitugengun@gmail.com



戦争は最大の環境破壊と、差別を生み出します！

10 月に入り少し秋めいてきました。同時に選挙戦もスタート。衆議院と知事選挙が同時にできないのはなぜなのか。選挙管理の作業に負担が大きすぎるのか？票が混ざること無いかと思うのですが、衆議院の選挙区割りが奇妙なことになってる関係でしょうか。

知らなかったのですが、川西は 2 分されているとか。2017 年川西市北部地域が 5 区（兵庫北東部）に編入。さらに今回も新たな変更あり。実際に以前票が混ざって無効になったこともあったようで、今回川西市は開票所を 2 か所にするとか。選挙管理委員会の不幸な事故や過重労働も問題になっていました。

なぜ選挙結果を急ぐのでしょうか？わざわざ徹夜して開票。（即日開票）翌日には結果発表。保管の問題はあるにしても、票に火がつけられる心配？盗まれる心配？改ざんされる心配？あるのかな～？開票後も保管するのだし…報道は「出口調査」なるもので投票締め切り直後から「当確」をバンバン出す。ひっくり返ることもたまにあります。

結果が気になり「夜も眠れない人」が何人いるのでしょうか？もちろん、「民主主義」の根底をなす選挙。おろそかにはできませんが「当選」が目的の選挙に見えて仕方がありません。立候補の皆さん、「ネイチャーポジティブ（30by30）」にも少しは関心を持ってくださいね。「えっ？それ何？」と言う人がいる？多い？ような気がします…そんなことないよね。

(今住 10 月 13 日作成)

報告 ★環境パネル展 宝塚市立文化芸術センター ホワイエ

2024 年 9 月 17 日 (火) ～9 月 24 日 (火)

毎年 2 回実施される環境都市宝塚推進市民会議主催「環境パネル展」。出したり出さなかったりしていますが、今回は出展。しかも会場はなんと、「宝塚市立文化芸術センター」ホワイエ（つまり場＝広いエントランス）。我々のポスターもいよいよ芸術の域に達したのか？と意気揚々と臨みました。奥のギャラリーでは個展、さらには奥にはライブラリーがあり人の出入りも多い。若い方の来訪も多いのではと期待しました。

ただ、「丸山湿原群保全の会」の内容はいつもと変わらず。パネル 3 枚と「クビオレアリタケ」の写真と説明。持ち帰り用パンフレット。今回はパネル新調を考えていたのですが、「猛暑・酷暑」の影響で気力が続かず断念。同じ内容となってしまいました。冬にはアピアでのパネル展も予定されています。それまでには…と毎回思うのですがどうでしょうか？しかし出すのか？

せっかく「文化芸術センター」をお借りしたのですが、展示にはか



いつもの写真 隣は「櫻守の会」

なり制限があったようです。「もっと見やすくできないのかな？」と聞いたのですが、天井



ガールスカウト・Cキッズ

には防火扉や安全のための装置があり、面積とレイアウトが限られてくるようです。「ホワイエ」ですからね。加えて展示のボードにピン打ちなどはNG。いつもはアルミフレームのパネルに入れ貼り付けていましたが今回はそれができず。パネルからポスターを外し展示？と思ったのですが写真仕上げなので傷がつくのではと、アクリルのカバーはそのままにして貼り付けました。結果、ポスターの重さに耐えられず、何度もはがれ落ちたそうです。センターの方から、「はがれています」の連絡のたびに市役所の職員の方に再度セッティングをしていただきました。ご迷惑をおかけしました。わざわざ市役所から・・・お手数をおかけして申し訳ありませんでした。次回はもう少し考えたいと思います。

他の「市民会議」メンバーも多数展示。しかし少し窮屈な感じが多かったように感じます。「芸術」には余白が必要・・・なんちゃって。

実際どれくらいの方が興味を持って見てくださったかそこがポイントなんです。どうでしょうか。



そうそう、今回から SDGs17 の目標についての表示が加わりました。「持続可能な世界」を実現するための目標です。各団体が 17 の目標のうち中心に考える 2 つを表示しました。丸山湿原群保全の会は 15 番「陸の豊かさを守ろう」と 17 番「パートナーシップで目標を達成しよう」を選択。勝手に選ばせていただきました。次回には変更も可能。ご意見ください。17 はちょっと選択ミスかな？

SDGs の詳しい内容は <https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/about/> で。

定期活動 ★9月22日(日) 天候不順で中止!

作業日でしたが、前日から雨の予報。中止としました。当日もちょうど 10:00 頃から雨。降ったような降らなかつたような雨でした。「恵の雨」かと思いきや、山からはほとんど出水はなし。依然カラカラ状態は続いていました。(丸山ではなく近所の様子から推測) ため池にも水は溜まらず……。結構溜まっている池もあるのですが、天水のみを集めるため池は湯水状態です。(水稻には必要ありませんが) ここ数年いわれる水不足。(農業用) 地域性と言ってしまうとその通りですが、



9月26日近くの天水ため池 水はほぼ無し

丸山湿原周辺は特に降らない。山にため込んだ水がすべてなくなることにはないようですが、「貯金」が無くなりそうです。「水溜め NISA」か「仮想湧水(滲水)」に手を出さなければいけなくなるかもしれません。場所によっては水をポンプアップして湿原を維持しているところもあるようです。いやいやそんなことは言われてられない「陸の豊かさを守ろう」です。山の木を伐りまくるか？一見自然破壊ですが、里山再生事業です。その木や山を利用しなかったら「里山」ではないけ



自然保護協会・武庫流・TEN



温暖化防止推進委員・新エネルギー

どね。水が増えるはずだし生物多様性も高まると思われます。

とにかく気候変動問題を何とかしなければと思う今日この頃です。Stop 温暖化。温暖化と生物多様性保護は密接に関係している。ゼロカーボンばかりに振り回されてはいけません。すべてが繋がっているのが生態系。グリーンカーボン、ブルーカーボン、こちらはすべて植物。最近ではワカメが注目されているようです。作業中止の話が飛躍しすぎました。申し訳ない。

定期活動 ★10月12日(土)

目的	市内	市外
丸山	24	48
ハイキング	35	81
散歩・登山	3	9

来場者数計 200 人
(竹筒ポスト集計)

場所	時間	気温【水温】	電気伝導 (EC)	PH
入口	10:00	18.6°C		
第3湿原	10:30	【18.5°C】	39.7 μS/cm	6.4
視点場	10:47	22.0°C	測定不能	—
第1湿原	10:56	【16.8°C】	39.2 μS/cm	6.7
第2湿原	11:30	【17.7°C】	35.9 μS/cm	6.1



秋らしい日差し

気温も 22°C 前後。長袖のシャツが必要になってきました。日差しも角度があり何か物悲しいような。実際は陽が当たると暑いのですが。湿原へ向かう道には野菊がちらほら。シラヤマギク(白山菊=ムコナ)をまた間違えてイナカギク(田舎菊=ヤマシロギク)と言ってしまいました。



名前が混乱するシラヤマギク

名前がややこしいのと今回は逆に覚えていました。「根出葉は卵状心形で長い葉柄がある」も確認し「ほらね根本の葉っぱが♡だからイナカギク」と。毎回やってるような。反省します。花びらが比較的まばらな花はシラヤマギク(ムコナ)と覚えとこっと。野菊はややこしい…。名前がややこしいのか?と言いつつ。信用せず自分で確認しましょう。確認してもまた間違える…悲しい。



咲き出したウメバチソウ

第3湿原の計測場所には水が少ない割に水位がありました。付近を見回すとウメバチソウ(梅鉢草)の蕾の群落。今年も相当数の花が見られそうです。

ひょっとするとこの増え方は乾燥化の象徴なのかも?とも考えてしまいます。湿った土地は多いが、水位がある土地が減っている?でも心配しても仕方がない。探すとすでに開花が始まっていました。花期の長い花。11月中頃?まで見られると思います。ウメバチソウはどの湿原でも見られます。観察しやすいのはやはり第3湿原かな?花をよく見て飾り雄蕊、雄蕊の広がり具合をお楽しみください。終わった花も飾り雄蕊が残り可憐な姿に。よく見ないと分かりません。



視点場前ミミカギグサ

第1湿原視点場。今回もやはり水なし。しかしミミカギグサ(耳搔草)

が咲いていました。第 4 湿原では東になって咲いているところもあり。その中に少しのムラサキ



ムラサキミミカキグサ

ミミカキグサ（紫耳搔草）、ホザキノミミカキグサ（穂咲耳搔草）が混じていました。最近ホザキノミミカキグサの大きいの見ないのが気になります。

スイラン（水蘭）は終盤。なぜか今年は背が伸びず、低い位置で咲いています。花数も少ないかな？ 1 日花ですが、すぐ次の花が用意されています。花期は短い。



第 4 湿原ミミカキグサの群生

第 2 湿原の計測が終了して戻る途中、大きなコナラ

（小楢）にオオカマキリ（大螳螂＝拝み虫）が。最後の脱皮を迎えてすぐなのか

色は薄い。何やら前後にスイングしていました。獲物を狙ってる？ スイン



サシガメを捕まえたオオカマキリ

グの正面に何やら虫が。そのまま進むか？ と思ったら横の溝にサシガメ（刺亀虫）が出てきた。方向を変えたカマキリ、今度はそちらにスイング。見ている前でキャッチし食べ始めました。思わず歓声！ コナラの横にはジョロウグモ（女郎蜘蛛）の巣も。メスはかなり大きくなってきました。こちらは待ちの獵ですが、見ていたカマキリと同じタ



終盤のスイラン



ハチとジョロウグモの攻防

イミングでハチをキャッチ！ ギャラリーは、クモを応援しているのか捕まったハチを応援しているのか不明ですが賑やか。すぐ、糸でぐるぐる巻きにするかと思いきや、ハチが絡みつくのを待っているよう。我々はクモの勝利を確信していたのですが、なんとハチはうまく逃げていきましたとさ。コガネグモ類ならイナゴなどがかかったとき、すぐ「ふと〜い糸」を出してぐるぐる巻きにしてしまいます。ジョロウグモとは方法が違うのでしょうか？ ハチだから警戒した？ 観察は面白いですね。ギャラリーはすべて 60 歳以上の大人たちでしたが…。昆虫たちは来年に命をつなぐ準備に忙しくなっているようです。長い夏でしたが、生きることに真面目です。見習わなくては…

活動予告 協働作業 第 1 湿原と遊歩道間の雑木整理（刈り取り）

前回の予定にそっと忍び込ませた「協働」。恒例となっている「北摂里山愛す会（里山大学 OB 会）」との作業の続報です。日時は 10 月 27 日（日）。丸山湿原駐車場 10:00 集合。15:00 まで。広く門戸は開放しますので、どなた様でも「よ〜しゃってやろう！」という方はご参加ください。ただし保険に関しては手配しませんので、所属、各自の分でカバーをお願いします。作業道具はできれば各自持参。（ない場合はお貸します）お弁当も各自でご用意願います。



昨年 11 月 26 日の協働風景

今回は、第 1 湿原東側遊歩道から湿原までのバッファゾーンの雑木整理。夏場は歩道からのロケーションが極端に悪くなっています。見通しがきく程度にはしたいと思っています。基本ヒサカキやソヨゴなどの常緑樹の除伐。（大きい木は除く）樹種が分からない場合は、特に気にする必要もないかと思えます。陽が入ると再萌芽してきます。「愛す会」の皆さん、ご指導よろしくお願いたします。

次回活動日 10 月 27 日（日）「愛す会」との協働作業（午後 3 時まで） 11 月 9 日（土） 24 日（日）